

## ～先天性トキソプラズマ症～

### ☆先天性トキソプラズマ症とは？

トキソプラズマとは人の細胞よりも小さい原虫です。  
妊娠中に初めてトキソプラズマに母親が感染する結果起こります。妊娠末期程胎児への感染率は上がりますが、妊娠初期の感染程重症化しやすいとされています。

胎児が感染した場合の症状としては、死産、流産、水頭症、脈絡膜炎による視力障害、脳内石灰化精神運動機能障害などがよく知られています。例え出生時に無症状でも、その後成人となるまでの間に症状を呈する場合があります。

### ☆トキソプラズマの感染源

大きく分けて3つあります。空気感染や人からの感染などはありません。

- ①トキソプラズマに感染している肉を生で、または十分に加熱しないで食べる事。  
レアステーキ、ユッケ、馬刺し、鶏刺し生ハム、サラミ、生乳なども感染源になります。  
また肉を切った包丁やまな板で生野菜を調理することにも感染の危険性があります。
- ②土いじり  
土や砂には、猫の糞から出てきたトキソプラズマの卵が含まれている可能性があります。  
卵は1年以上感染力を有しています。水より比重が軽いので、雨のあとには土の表面に浮き上がってきます。素手での砂場遊びやガーデニングは避けましょう。
- ③トキソプラズマに感染しているネコの糞に触れる事  
ネコの糞に直接触れることがなくても、糞に汚染された土や砂からも感染する危険性があります。飼い猫のトイレ掃除はできるだけ避けて下さい。避けられない場合はマスクや手袋を着用し、終了後しっかりと手を洗いましょう。  
ネコの糞中のトキソプラズマは成熟するのに24時間以上かかります。ネコのトイレ容器は毎日掃除して下さい。ネコは全身を舐めるため、キスなどのスキンシップも避けた方がよいでしょう。ネコを捨てる必要は決してありません。また、ネコ科動物以外のペットからは感染しません。

### ☆トキソプラズマ抗体検査

日本の妊娠可能女性の多くは、トキソプラズマに感染したことがなく、免疫を持っていません。  
トキソプラズマ抗体検査を行うことで、トキソプラズマに対する免疫の有無を調べる事ができます。

#### ◇抗体検査陰性の場合

これまでトキソプラズマに感染したことはありません。妊娠中に新たにトキソプラズマに感染しないよう、感染源に留意し、感染予防に努めましょう。

#### ◇抗体検査陽性の場合

更に専門機関で検査を行い、感染時期を推定します。感染時期の確定は困難な場合が多いですが推定はできます。妊娠中の感染が疑われる場合は、胎児感染の有無を調べ、必要な場合は治療を行います。

